



衆議院議員 自由民主党東京都
第十二選挙区支部長

高木 けい

国政レポート Vol.18

衆議院東京都第 12 選挙区のアリア

○北区全域（人口 361,259 人）

○板橋区北部（人口 109,392 人）

坂下1丁目 27・29～41

坂下 2・3 丁目

東坂下 2 丁目、

蓮根 1～3 丁目

相生町

高島平 1～9 丁目

新河岸 1～3 丁目

舟渡 1～4 丁目

※坂下一丁目の人口は一丁目全域で算出

※令和 6 年 8 月現在の人口

（上記以外の板橋区は、東京都第 11 選挙区のアリアとなります）



ホームページ



X



Facebook



Instagram

防災・減災・国土強靱化

— 東京 12 区エリアの諸課題① —

1. 河川・治水・集中豪雨対策は急務

東京 12 区エリア（北区全域と板橋区北部）は荒川、新河岸川、隅田川、石神井川など、東京の中でも主要河川のある地域。国による荒川の治水対策では、埼玉県の荒川第 2・第 3 調節池の建設が急ピッチで進められており、令和 8 年度から順次供用予定です。東京都による新河岸川・隅田川・石神井川対策も、100 ミリ／時間の集中豪雨に対応すべく、堤防の強化、下水幹線の拡大による貯留能力の向上、城北中央公園地下調節池（第一期は令和 7 年度より供用開始予定）や環七地下広域調節池の整備（白子川地下調節池は平成 29 年度より共用開始済）が進められています。こうした対策を進めていても先般 7/31 夜の集中豪雨では、北区・板橋区で内水氾濫が発生しました。気象条件が激変している昨今ですので、さらなる治水対策の早急な充実に努めてまいります。

2. 首都直下型地震、火山噴火対策も

今年に関東大震災から 101 年目となりました。過去の地震の教訓として、特に都市部の大規模地震では、建物の倒壊と大規模火災の発生で人命が失われています。建物の耐震化とまちづくりとしての木造住宅密集地域の解消が必要です。富士山や浅間山の噴火対策が、国と東京都では最近著しく注目されはじめました。過去の歴史から、これらの山はいつ噴火してもおかしくないと言われており、東京への影響は降灰量によって大きく変わります。国と東京都の連携した対策強化を、緻密な計画のもとに実現していきます。

3. 自衛隊、(国・地方) 公務員、建設業等民間事業者のマンパワー確保を

災害発生時には、何と言ってもマンパワーが必要です。例えば災害の初期段階で、倒壊した建物から人を救う時、また緊急輸送道路の道路啓開などには大小の重機等が必要で、誰が、どのようにその役割を担うのか。避難所の運営、物資の供給、そのシステムの運用等、ありとあらゆるところに人が必要です。そのためにも、自衛隊、公務員、建設業等民間事業者のマンパワー確保は、防災対策の最重要課題として、常に取り組んでいかなければなりません。